

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限（2000年5月2日設定）
運用方針	わが国の短期公社債および短期金融商品に投資し、利子等収益の確保を図ります。
主要運用対象	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 収益分配金額は、経費等を控除後の配当等収益等の全額とし、売買益等は信託財産に留保します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

日本株スタイルセレクトオープン

愛称：ビッグ・ウィング・ワン

BWマネープールファンド



第38期（決算日：2019年9月10日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「BWマネープールファンド」は、去る9月10日に第38期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金			
	円			円		%	百万円
34期(2017年9月11日)	10,063			0		△0.0	17
35期(2018年3月12日)	10,060			0		△0.0	17
36期(2018年9月10日)	10,056			0		△0.0	17
37期(2019年3月11日)	10,052			0		△0.0	17
38期(2019年9月10日)	10,049			0		△0.0	17

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	基準価額		債 組 入 比	券 率
		騰	落		
(期首) 2019年3月11日	円		%		%
3月末	10,052		—		—
4月末	10,052		0.0		—
5月末	10,051		△0.0		—
6月末	10,051		△0.0		—
7月末	10,050		△0.0		—
8月末	10,049		△0.0		—
(期末) 2019年9月10日	10,049		△0.0		—

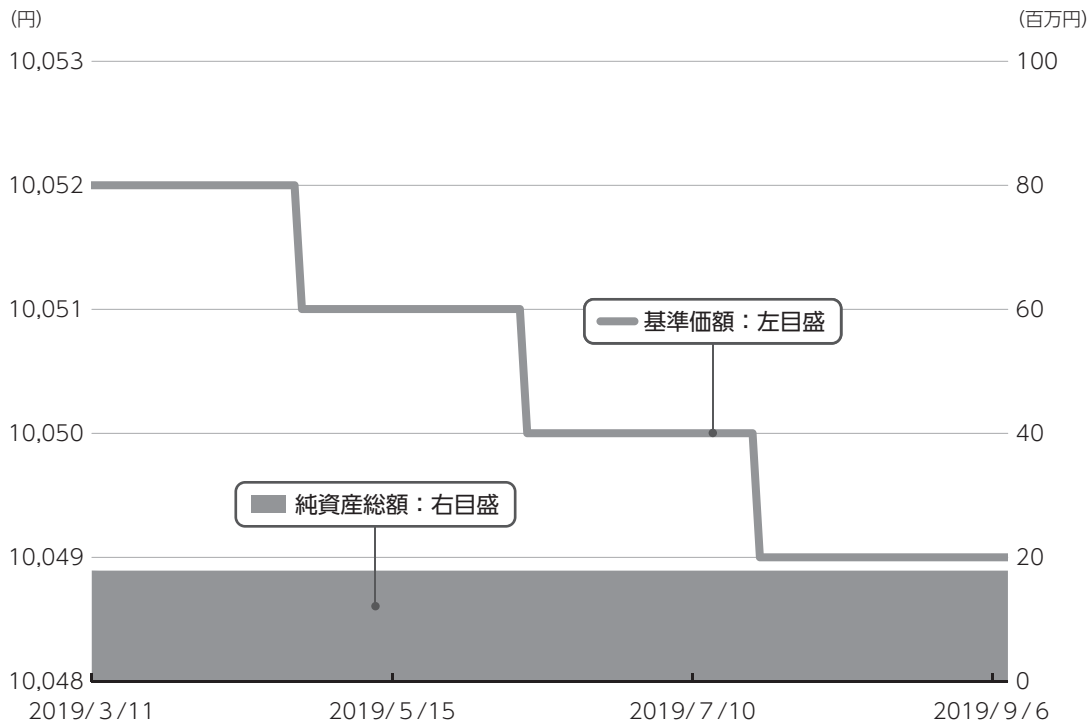
(注) 騰落率は期首比。

運用経過

第38期：2019年3月12日～2019年9月10日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第38期首	10,052円
第38期末	10,049円
既払分配金	0円
騰落率	-0.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.03%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因**下落要因**

マイナス金利適用や信託報酬等コストがマイナスに影響しました。

第38期：2019年3月12日～2019年9月10日

投資環境について

国内短期金融市場 無担保コール翌日物金利は0%を下回る 水準で推移しました。

当期の短期金融市場を見ると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を

行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年9月10日のコール・レートは-0.061%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

運用にあたっては、流動性に配慮し、短期金融商品で運用を行い安定した収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第38期 2019年3月12日～2019年9月10日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	82

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短

期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、引き続き短期金融商品を中心に投資をすることで、流動性を最重視した運用を継続する方針です。

2019年3月12日～2019年9月10日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	1	0.005	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(0)	(0.001)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.002)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.002)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	1	0.005	

期中の平均基準価額は、10,050円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

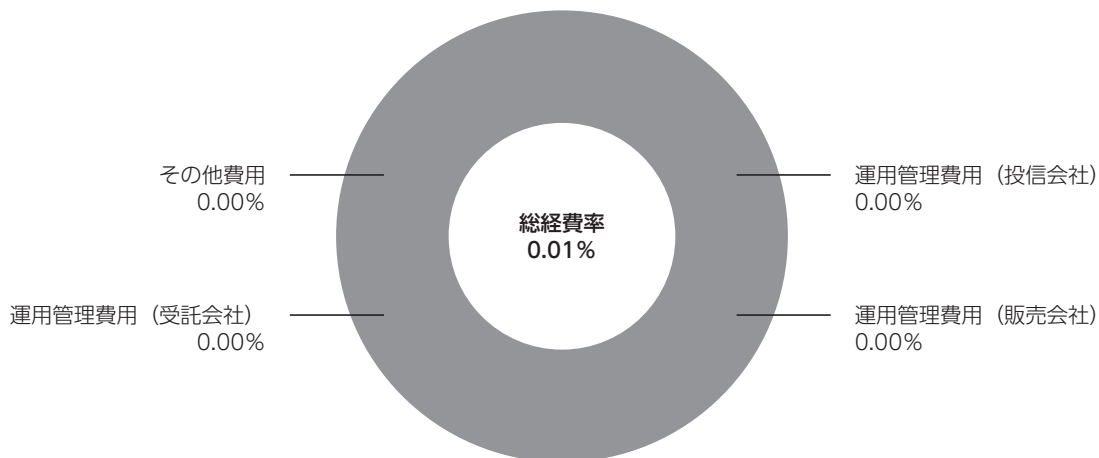
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.01%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月12日～2019年9月10日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 20,001	千円 20,001

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月12日～2019年9月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年3月12日～2019年9月10日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

(2019年9月10日現在)

2019年9月10日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年9月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 17,868	% 100.0
投資信託財産総額	17,868	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	17,868,118
コール・ローン等	17,868,118
(B) 負債	956
未払信託報酬	920
未払利息	32
その他未払費用	4
(C) 純資産総額(A-B)	17,867,162
元本	17,780,788
次期繰越損益金	86,374
(D) 受益権総口数	17,780,788口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,049円

<注記事項>

- ①期首元本額 17,780,788円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 0円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0049円です。

②分配金の計算過程

項 目	2019年3月12日～ 2019年9月10日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	98,667円
分配準備積立金額	48,192円
当ファンドの分配対象収益額	146,859円
1万口当たり収益分配対象額	82円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況 (2019年3月12日～2019年9月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 5,443
受取利息	△ 22
支払利息	△ 5,421
(B) 信託報酬等	△ 962
(C) 当期損益金(A+B)	△ 6,405
(D) 前期繰越損益金	953
(E) 追加信託差損益金	91,826
(配当等相当額)	(98,667)
(売買損益相当額)	(△ 6,841)
(F) 計(C+D+E)	86,374
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	86,374
追加信託差損益金	91,826
(配当等相当額)	(98,667)
(売買損益相当額)	(△ 6,841)
分配準備積立金	48,192
繰越損益金	△53,644

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。